

その炎は生き続ける—

# ちりめんやの はなし

—四百年の旅人—

十五代 沈壽官 十五代 坂倉新兵衛 十二代 渡仁 ほか 語り：小林薫

監督：松倉大夏

企画・プロデュース：李鳳宇／撮影：辻智彦、加藤孝信／録音：菅沼緯馳郎、藤田秀成

編集：平野一樹／編集助手：七宝治輝／アニメーション：小川泉／音楽：李東峻

整音：吉方淳二／カラーグレーディング：俵謙太／宣伝美術：李潤希／プロデューサー：長岐真裕

特別協賛：株式会社S-LIFE、Asia Society Japan Center、大韓航空、財団法人李熙健韓日交流財団 助成：文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業 AFF2

企画・製作・提供：SUMOMO 配給：マンゴーエンターテインメント 2023年/日本/日本語・韓国語/カラー/DCP

©2023 Sumomo Inc. All Rights Reserved

わたしたちは、  
故郷を想い〈未来〉を見つめる――



豊臣秀吉の二度目の朝鮮出兵の際に、主に西日本  
の諸大名は各藩に朝鮮人陶工を連れ帰った。  
薩摩焼、萩焼、上野焼等は朝鮮をルーツに持ち、  
今もなおその伝統を受け継いでいる。

薩摩の地では、島津家が朝鮮陶工たちを厚く庇  
護をして苗代川という地に住ませた。その  
中に沈壽官家の初代となる沈当吉がいた。以  
来、沈壽官家は研鑽を重ね、多彩な陶技を尽  
くした名品の数々を世に送り出し、世界中に  
「SATSUMA」の名が広がった。

幼少期に経験した言われなき偏見や差別の中  
で、日本人の定義とは何かと自身のアイデン  
ティティに悩んだ十五代沈壽官を救った司馬遼  
太郎の至宝の言葉。その十五代沈壽官が修業時  
代を過ごした韓国・利川にあるキムチ甕工房の  
家族は、十五代から学んだ伝統を守る意義を語  
る。沈壽官家の薩摩焼四百年祭への願い。そし  
て、十二代渡仁が父から受け継いだ果たすべき  
使命。十五代坂倉新兵衛が語る父との記憶と次  
代への想いとは…。

朝鮮をルーツに持つ陶工たち、その周囲の人々  
のなすが交差し、いま見つめ直すべき日本と  
韓国の陶芸文化の交わりの歴史、そして伝統の  
〈継承〉とは何かが浮かび上がる。

#### <教育懇談会ごあいさつ>

港北区教育懇談会は、1998年から子どもたちの育ちを考え、学び、支える活動をしてきました。  
近年は区内にあります北綱島特別支援学校の閉校反対運動を、保護者の方と共に7年間取り組み、  
2022年4月1日に元の学校にもどすことができました。約80名の児童生徒が通学しております。  
今、横浜市の学校でも、不登校やいじめが急増しています。教員不足も深刻です。今後も、35人学級、  
中学校給食など皆さんと一緒に取り組んでまいります。

### 港北区教育懇談会

## 第28回映画会 (区社会福祉協議会助成事業)

# 2026年 2/25 (水)

① 10:30~12:30 ② 14:00~16:00 (開場は30分前)  
(上映後 松倉大夏監督の挨拶)

### 港北公会堂ホール

前売券 大人 700円 (当日券 800円)

こども、学生、障がい・付添いの方 300円 (当日同)

#### お問合せ・チケット申込み

田中 090-4384-2938 佐藤 090-5314-7603

守屋 Eメール hiiragi0312@outlook.jp

080-6559-0183 fax 045-541-0414

#### ■ 会場案内

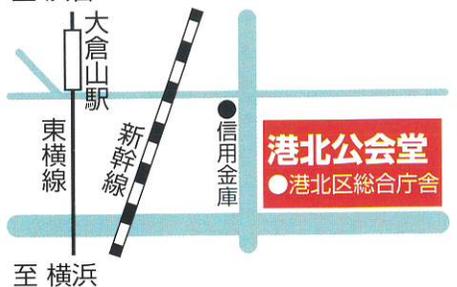
東急東横線 大倉山駅下車 徒歩 7分

〒223-0032

横浜市港北区大豆戸町26-1

港北公会堂 Tel. 045-540-2400

至 渋谷



至 横浜